



作業療法便り

作業療法では日常生活動作（食事や更衣、入浴など）を患者様が行いやすくなるよう練習していきますが、リハビリ内容を決定するうえでは、入院中より退院後の生活環境を考慮することが重要となってきます。

そのため、リハビリ室から出て、実際に患者様のご自宅を訪問する場合があります。この、退院前訪問についてご紹介したいと思います。

退院前訪問とは・・・

患者様の安全な在宅生活のために、担当のリハビリスタッフ(理学療法士・作業療法士)が退院の1ヶ月程前に自宅を訪問し、住宅改修や動作手順などの確認・提案をさせていただくことです。

ご自宅にて実際に動作確認することにより、現在の能力で安全に行えるか、又、介助の仕方などを提案することも出来ます。

今回はその一例をご紹介させていただきます。

・ 段差

高さを測り、手すりや踏み台、スロープ設置の必要性を検討します

例) 玄関前の階段



左右どちらに手すりをつけるか、どのくらいの高さにするか等を決めます。

例) 浴室



設置場所や、どんな形（横型や縦型、L字型等）にするか等を決めます。

・ 自助具、福祉用機器の導入

必要であれば、ケアマネージャー等と連携し、介護サービスやレンタル機器を導入します

例) **ベッド、歩行器、車椅子、浴室内の椅子等**

・ 動作指導

患者様によっては入院前と体の動きが異なる場合があるため、新しい動作方法の練習を自宅環境を考慮し、ご本人または介助者の方に指導します

例) **段差昇降、浴槽の跨ぎ越し、屋内／屋外移動方法等**

患者様の身体・認知機能、介助者の有無、住宅環境によって様々な事例がありますが、その一部をご紹介しました。

ご質問などございましたら、リハビリの担当療法士までご相談ください。

安全な在宅生活を、より長く送るためのお手伝いをさせていただきたいと思っております。